

# 「年末手当・西九州新幹線開業祝い金」第2回団交開催!

本部は、11月8日、申第6号「西九州新幹線開業祝い金について」  
申第7号「2022年度年末手当について」第2回団体交渉を開催した。

## — 会社側考え方 —

- ・コロナ禍においても、安全安定輸送の確保、西九州新幹線開業やダイヤ改正への対応、自然災害などの早期復旧の対応など日々のご協力に感謝する。
- ・中間決算では、営業利益、経常利益、当期純利益すべて黒字。一方で鉄道運輸収入が、コロナ前の75%に満たない状況。また、燃料費の高騰など費用増の懸念材料もあり、会社の経営状況は依然として厳しい状況。
- ・年末手当は社員への生活に与える影響は大きいとの認識はあるが、慎重に検討する。
- ・西九州新幹線開業祝い金については慎重に検討中。

## — 組合側主張 =

- ・営業利益など黒字となり、鉄道運輸収入は75%とは言え、通勤通学や旅行者、また各地のイベントなど、各駅・列車などお客さまはかなり増えていることを実感している。現場で働く社員は今回の年末手当には大きな期待をしている。
- ・若い社員の離職は依然として続いている。賃金面での理由というののもかなり多い。
- ・会社側は、検討中を繰り返すが、現時点どれ位の数字を検討しているのか示さなければ、協議にならない。
- ・社員にとって、年末手当は生活給の一部であり、現在の物価高もある。他社では、インフレ手当を支給する企業もある。
- ・12月9日の支給を求めているが、生活設計もあり一日も早く数字を示してもらう必要がある。
- ・西九州新幹線開業し、1ヵ月後の利用率は33%と発表があったが、コロナ禍前に比べても若干ながらプラスとされている。各職場で、ワンマン拡大等効率化が続く中社員は疲弊しながらも真面目に業務に取り組んでいる。社員の努力に年末手当・西九州新幹線開業祝い金でしっかり報いるべきだ。

**四半期純利益120億円 満額回答を!**

**次回第3回団体交渉11月18日開催**